

全国大会について

2024年4月26日企画委員会決定

1. 全国大会の目的

全国大会は、会員に自らの研究や実践の発表の場を提供し、会員が研鑽と交流を行うことにより、評価学の発展および日本における評価活動の定着と評価人材の育成に寄与することを目的とする。

2. 大会に参加できる者

全国大会に参加できるのは日本評価学会会員または大会実行委員長が招待した者とする。なお、大会参加費を支払った者は大会期間中のみの臨時会員として参加できる。発表者に関する事項は別に定める。

3. 全国大会の構成

全国大会の構成は、原則として自由論題セッション、共通論題セッション、シンポジウムからなるものとする。

(1) 自由論題セッション

①自由論題は会員による研究および実践の成果発表の場を提供することを目的とする。

②自由論題には座長と指定討論者を置く。

③座長は企画委員会が指名する。指定討論者は座長が指名し、企画委員会が承認する。座長は、指定討論者を兼任することができる。

(2) 共通論題セッション

①共通論題は特定のテーマについて学会の内外にひらかれた研究交流を推進することを目的とする。

②共通論題には座長、司会、指定討論者を置く。座長は原則として共通論題の

セッション責任者が務める。座長は司会者と指定討論者を指名し、企画委員会が承認する。また、これらの役割は座長が兼任することができる。司会は指定討論者を兼任することができる。

③共通論題のうち、研究発表よりも自由討論の比重が高いものをラウンドテーブルと称する。

④ラウンドテーブルの場合、座長が司会者や指定討論者、発表者の構成を企画し、企画委員会が承認する。

(3) シンポジウム

①シンポジウムは、学会開催地の地域性や学会開催時点の社会的ニーズを反映して、適時性の高いテーマを学会から発信することを目的とし、原則として一般公開で行う。

②テーマの設定や登壇者の選定は、大会実行委員会の意見を聞き、企画委員会が決定する。

(4) その他

①学会として注目すべき社会課題や研究上の問題について、学会員が共有することを必要とする場合は、その都度、特別シンポジウムや基調講演などのセッションを設けることができる。

②前項のセッションを開設する場合には、大会のテーマや学会としての必要性を踏まえ、企画委員会が決定する。

4. 発表の申し込み

発表の申し込みは発表希望者が企画委員長に対して行う。全国大会当日までの手続きは以下のとおりである。

(1) 自由論題セッションへの発表申し込み

①発表希望者は、所定の様式（自由論題発表申込書）を用いて企画委員長に対し申し込みを行う。

②企画委員長は、企画委員会にてプログラムを確定し、発表者にプログラムを通知する。

③発表希望者は、発表要旨集録（プロシーディングス）に掲載される発表要旨を執筆し、企画委員長に提出する。

④発表者は全国大会にて発表を行う。

(2) 共通論題セッションの申し込み

①共通論題セッション希望者は、所定の様式（共通論題セッション企画申込書）を用いて企画委員長に対し申し込みを行う。

②企画委員長は、企画委員会にてプログラムを確定し、セッション責任者にプログラムを通知する。

③セッション責任者および各発表者は、発表要旨集録（プロシーディングス）に掲載されるセッションの要旨または発表要旨を執筆し、企画委員長に提出する。

④セッション責任者は全国大会にて共通論題セッションを開き、各発表者は発表を行う。

(3) 発表申し込みに係る注意事項

①発表者や発表内容の要件に関しては、「日本評価学会全国大会における発表に関する要領」を遵守すること。

②発表要旨集録（プロシーディングス）に掲載される原稿の様式については、「発表要旨原稿執筆要領」を遵守すること。

③申し込みに係る期日は、あらかじめ通知する。円滑な大会運営のために期日を遵守すること。

④発表取り下げは原則として認めない。やむを得ない事情で発表ができなくなった場合は速やかに企画委員長に連絡すること。

以上